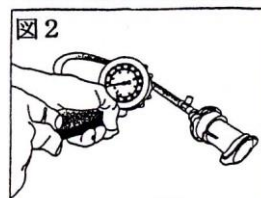
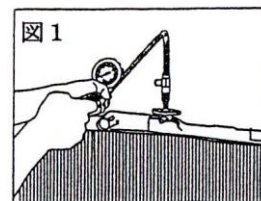
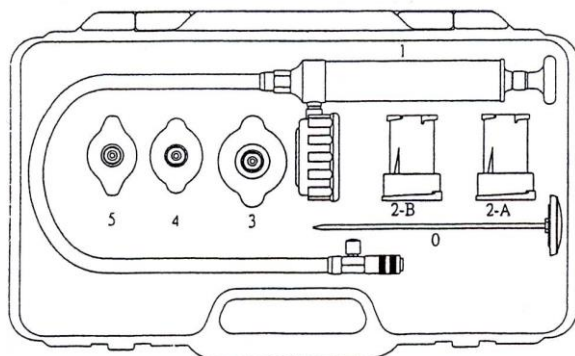
取扱説明書
ラジエーター・テスター　品番：＃３９１２０１００　型式：１０１８Ｂ

１，セット内容

・アダプター３種類、温度計（Ｎｏ．０）、ポンプ（Ｎｏ．１）、スイッチコネクター（Ｎｏ．２Ａ，Ｂ）

２，使用方法

※ラジエーターの水漏れ検査方法（図１）

①水温が完全に下がってから作業をして下さい。
②ラジエーターキャップを取り外し、使用車種に適合するアダプターのいずれかを確実にねじ込んで下さい。
③ポンプのホース先端のソケットを、アダプターのプラグに差し込んで下さい。『カチッ』と音が鳴ると接続完了です。
④ポンプのハンドルを伸縮させて、ラジエーター内の圧力（ポンプ付属のゲージ）を１５～２０ＰＳＩにして下さい。
⑤ラジエーター各部から水漏れが無い事、圧力ゲージの針が下がっていない事を確認して下さい。圧力ゲージの針が下がると、ラジエーター内よりリークが発生しています。適切な処置を行って下さい。
⑥更に５～１０分程度ラジエーター内に圧力を掛けた状態にし、異常が無い事を確認して下さい。
⑦ポンプのソケットの横にあるバルブを押してラジエーター内の圧力（ポンプ付属のゲージ）を０ＰＳＩにして下さい。
⑧車からアダプターを取り外し、ポンプのハンドルを２～３回伸縮させて下さい。ポンプ内の水を取り除く事が出来ます。

※ラジエーターキャップの圧力検査方法（図２）

①水温が完全に下がってから作業を行って下さい。
②ラジエーターキャップを取り外して下さい。
③圧力検査をするラジエーターキャップのサイズに合わせて、スイッチコネクターのいずれかを取り付けて下さい。続いて、スイッチコネクターの他端に、アダプターのいずれかを取り付けて下さい。最後にポンプとアダプターを接続して下さい。
④ポンプのハンドルを伸縮させて、ラジエーターキャップ（スイッチコネクター内）に圧力を掛けて下さい。圧力は、ラジエーターキャップの仕様（最大１５～１６ＰＳＩ）に合わせて設定して下さい。
⑤圧力ゲージの針が設定圧力から５％以上下がると、ラジエーターキャップからのエア漏れ、劣化が考えられます。
⑥ポンプのソケットの横にあるバルブを押して、圧力（ポンプ付属のゲージ）を０ＰＳＩにして下さい。

３，適応車種

Ｎｏ．３：アダプター（ベンツ、GM、ジープ）
Ｎｏ．４：アダプター（プジョー、スバル、クライスラー、GM、三菱、日産、マツダ、トヨタ、スズキ、いすゞ、フォード）
Ｎｏ．５：アダプター（ホンダ、トヨタ、スズキ、三菱、クライスラー）

４，注意事項

⚠**警告**（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）
①**水温が下がっていない状態で、ラジエーターキャップを開けない**で下さい。ラジエーター液が噴出する恐れがあります。

⚠**注意**（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）
①本機のポンプを使用して、**ラジエーター内の圧力を必要以上に高く（２０ＰＳＩ）しない**で下さい。ラジエーターのパイプとホースの接続部分からラジエーター液が漏れる恐れがあります。 ②使用車種に適合しない形状のアダプターを無理に取り付けて使用しないで下さい。 ③本機の清掃に、シンナー等の化学薬品を使用しないで下さい。パッキン等が破損する原因になります。 ④**ラジエータータンク内に圧力を掛けた状態で、ラジエーターからポンプ、アダプターを取り外さない**で下さい。 ⑤セット内容に破損、変形等の不良がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。 ⑥分解、修理、改造はしないで下さい。本来の能力を発揮出来なくなり、事故の原因になります。 ⑦本機は、ラジエーターの水漏れ、ラジエーターキャップのエア漏れを点検する道具です。その他の用途には使用しないで下さい。 ⑧ラジエーターに取り付けた**アダプターを、斜め方向に力を掛けないで下さい。空気、液漏れの原因**になります。

株式会社パーマン コーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００